

2020 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 診療放射線技師学科(夜間部) | | 科 目 区 分 | 基礎分野 | 授業の方法 | 講義 |
|---|----------------|---------------------|---------------------------|--|--------------------------------------|---------------|
| 科 目 名 | 社会学入門 | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 15 (1) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 1年次 | | 学期及び曜時限 | 前期 | 教室名 | 第3校舎 801教室 |
| 担 当 教 員 | 房 伸吉 | 実務経験と その関連資格 | | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| 「万事について一事をしり、一事については万事を知る」とJ.ミルは教養と専門の意味を明らかにしている。受講生の幅広い知識の獲得と諸現象を見抜く洞察力の涵養。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| 記述試験の成績(70%)と出席評価及び学習姿勢等(30%)を総合的に評価 | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| 特定の教科書は要りません。板書を多用し、適宜、参考文献を紹介します。 | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| 社会で起きているさまざまな出来事に興味を持ってください。 | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| 言葉の持つ意味、定義の検討と体系性や論理性を心掛けてください。 | | | | | | |
| 授業の 方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第 1 回 | 講義 形式 | 授業を 通じての 到達目標 | 社会学への誘い、プレリユードを理解する。 | 特定の教科書は 要りません。板書 を多用し、適宜、 参考文献を紹介 します。 | 授業の復習および授業 の最後にキーワードを 示すので調べる。 | |
| | | 各コマに おける 授業予定 | 人間とは何か。人類とは何か。 | | | |
| 第 2 回 | 講義 形式 | 授業を 通じての 到達目標 | 社会と人間の変化、あるいは進化について説明できる。 | 特定の教科書は 要りません。板書 を多用し、適宜、 参考文献を紹介 します。 | 授業の復習および授業 の最後にキーワードを 示すので調べる。 | |
| | | 各コマに おける 授業予定 | 共同体と機能社会、農村と都市と産業 | | | |
| 第 3 回 | 講義 形式 | 授業を 通じての 到達目標 | 比較の視点を持てるようになる | 特定の教科書は 要りません。板書 を多用し、適宜、 参考文献を紹介 します。 | 授業の復習および授業 の最後にキーワードを 示すので調べる。 | |
| | | 各コマに おける 授業予定 | 英米社会、アジアの社会、中国、その他の国々 | | | |
| 第 4 回 | 講義 形式 | 授業を 通じての 到達目標 | 日本社会(封建制、明治維新)について理解する。 | 特定の教科書は 要りません。板書 を多用し、適宜、 参考文献を紹介 します。 | 授業の復習および授業 の最後にキーワードを 示すので調べる。 | |
| | | 各コマに おける 授業予定 | 封建制と社会とフォークロア、明治維新 | | | |
| 第 5 回 | 講義 形式 | 授業を 通じての 到達目標 | 日本社会(戦前・戦中・戦後)について理解する。 | 特定の教科書は 要りません。板書 を多用し、適宜、 参考文献を紹介 します。 | 授業の復習および授業 の最後にキーワードを 示すので調べる。 | |
| | | 各コマに おける 授業予定 | 戦前・戦中・戦後の日本 ～混乱と安定～ | | | |

